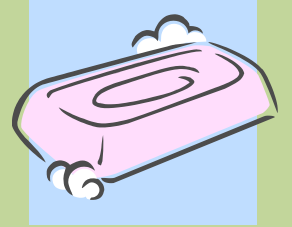


廃油石けんづくり



2月1日（火）、2年生「環境科学」（生産科学系列＋教養系列選択 16名）では、天ぷら使用後の廃油を使用した固形石けんづくりを行いました。

牛乳パック内に入れた水酸化ナトリウム（NaOH）を水でよく溶かし、その後、廃油（天ぷら使用後）を静かに注ぎ、しぶきやはねを上げないように気をつけながら約30分間、割り箸で攪拌しました。そのままの状態置いておくと約3週間で固形石けんになります。今回は、消費期限切れのキャノーラ油やオリーブオイル、米油も使用しました。

天ぷら使用後の廃油、使用済の牛乳パック、ペットボトル、割り箸など使用器具や材料も全てリユース（再使用）・リサイクル（再生利用）を心がけました。

この学習の成果を生かして、小学生高学年向けの出前授業を予定しています。

